

政策シート 政策名 **05 斎場・墓園・墓地の整備推進**

予算費目名 **01 斎場費**

1 基本情報

(1) 総合計画体系

分野 03 安全・安心・快適

理想の姿 (30年後)	◆どこでも安全、いつまでも安心、持続可能で快適なまちになっている。
政策の柱 (10年後)	◆災害、犯罪、事故などの危険から、自分の命と財産を自分で守る意識を身に付けている。 ◆居住エリアの集約化などが進み、コンパクトなまちづくりが進んでいる。

基本政策 02 安全で安心して暮らせる持続可能な地域社会づくり

(2) 政策の概要(当年度(2023年度)実施内容)

新型コロナウイルスの感染症法上の位置づけが変更されることに伴い、斎場での感染対策の見直しを行うとともに、送る方に安心感と安らぎを与え、悲しみを癒す雰囲気を持った斎場施設を推進する。「浜松市斎場再編・整備方針」を踏まえ、浜松及び雄踏斎場再整備についてはPFI法に基づく事業者選定を進める。

(3) 関連するSDGsのゴール

--	--	--	--	--	--	--

2 政策コストの状況(千円)

	2019	2020	2021	2022	2023	2024
予算	714,278	1,633,617	398,279	453,781	508,415	
決算	702,572	1,626,021	383,304	444,572		
人件費(報酬等)(A)			5	99	102	
人件費(人工分)(B)	21,000	21,000	26,600	26,600	26,600	
年間経費(予算又は決算+A+B)	723,572	1,647,021	409,909	471,271	535,117	

3 政策指標の状況

政策指標	単位	年度	2019	2020	2021	2022	2023	2024
		目標						
		実績						
		目標						
		実績						
		目標						
		実績						

4 前年度(2022年度)政策評価

(1) 前年度(2022年度)実施内容

・全ての斎場で、新型コロナウイルス対策を行い、滞りなく火葬業務を実施することができた。
 ・火葬設備や斎場施設の保守管理、施設の改修・整備を行うとともに、台風で被災した天竜斎場の復旧を行った。
 2016年2月策定・公表の「浜松市斎場再編・整備方針」を踏まえ、浜松及び雄踏斎場の事業者選定基準を決定した。
 ・雄踏斎場再整備に係る土地について、用地買収を行った。
 ・火葬予約システム運用していく中で、システムを使用する担当者で協議を行い、運用方法の変更や、システムの修正等を行った。

(2) 政策評価(政策の進捗及び課題)

<進捗> 計画通り

・台風により天竜斎場が被災、及び復旧作業により一時的に休止があったが、他斎場で受け入れするなど円滑な運営ができています。
 ・斎場再整備事業では附属機関であるPFI等審査委員会を立ち上げ、事業者選定基準を決定し、計画通り事業が進捗しています。
 ・火葬予約システムが本格的に運用され、予約業務の迅速等、斎場利用者及び担当職員の利便性が向上した。

◇政策実現のために実施する事業一覧

	事業名	総合戦略	主要事業	完了	コスト (千円)	事業費 (千円)	人工			報酬 (千円)
							正規	再任用 (31h)	再任用 (26h)	
1	斎場運営事業	-	-		288,362	292,928	0.5			4
2	斎場施設整備事業	-	-		97,666	98,107				
3	斎場再編・整備事業	-	○		81,742	59,225	3.3			95
4	(新規)区再編準備事業	-	-							
5	斎場デジタル運営経費	-	-		3,501	3,521				
6										
7										
8										
9										
10										
11										
12										
13										
14										
15										
16										
17										
18										
19										
20										
21										
22										
23										
24										
25										
計					471,271	453,781	3.8			99

※人工単価(千円)正規7,000 再任用(h31)3,600 再任用(h26)2,600 会計年度任用職員(人事課予算)2,800

事業シート (事業名) 01 斎場運営事業

1 基本情報

(1) 事業目的・事業対象

遺体やペット類の火葬及び葬儀のための式場の貸出しを行っており、業務が一時停止することや中止することがないよう、火葬設備や斎場施設の保守管理を中心に、常に市民が安心して利用できる施設として運営維持管理を行う。

(2) 事業の性質

開始年度	終了予定	会計区分	事務区分	根拠法令等
1972	-	一般会計	自治事務(その他)	浜松市斎場条例・浜松市佐久間・水窪霊きゆう自動車条例

(3) 事業の位置付け

主要事業		※「総合戦略」該当事業 及び 政策実現のため特に重要な事業を主要事業とする。							
総合戦略	-	(施策)							

(4) 関連するSDGsのゴール

事業とゴールの関連性	なし
------------	----

2 事業コストの状況(千円)

		2019 (R1)	2020 (R2)	2021 (R3)	2022 (R4)	2023 (R5)	2024 (R6)
事業費(千円)	予算	241,316	244,573	280,796	292,928	289,147	
	決算	230,955	239,603	271,843	284,858		
	国・県支出						
	市債						
	その他	43,021	41,769	44,122	43,308	42,400	
	一般財源	187,934	197,834	227,721	241,550	246,747	
一般会計繰入金							
人件費(報酬等)(A)				5	4	7	
人件費(人工分)(B)		3,500	3,500	3,500	3,500	3,500	
人工	正規	0.5	0.5	0.5	0.5	0.5	
	再任用(31h)						
	再任用(26h)						
	会計年度任用職員(人事課予算)						
年間経費(予算又は決算+A+B)		234,455	243,103	275,348	288,362	292,654	

3 事業の指標の状況(2024: 総合戦略・基本計画最終年度)

指標名称	総合戦略 施策体系	年度	2019	2020	2021	2022	2023	2024
			(R1)	(R2)	(R3)	(R4)	(R5)	(R6)
		目標						
		実績						
		目標						
		実績						
		目標						
		実績						
		目標						
		実績						

(管理番号)									
2022年度	分野	基本政策	政策	予算費目	所属コード	事業	(担当課)	(責任者)	(基準日)
	03	02	05	01	000605000	01	市民生活課	大城 秀寛	2023.7.1

4 前年度(2022年度)事業実施内容 (Do)

- 施設の維持管理を行う。
- ・浜松斎場運営事業
 - ・浜北斎場運営事業
 - ・天竜斎場運営事業
 - ・雄踏斎場運営事業
 - ・三ヶ日斎場運営事業
 - ・春野斎場運営事業
 - ・佐久間・水窪斎場運営事業

5 前年度(2022年度)事業評価 (Check)

(1) 事業の成果と課題

指標の達成度

- ・全ての斎場で、新型コロナウイルス対策を行い、滞りなく火葬業務を実施することができた。
- ・浜松・浜北・雄踏斎場について、指定管理者による円滑な事業運営ができた。

(2) 考慮すべき社会経済状況の変化 (新たな社会課題や機会、法制度の改正、他団体の動向など)

新型コロナウイルスの感染症法上の位置づけ(法改正)。

6 事業の見直し (Action)

(1) 前年度(2022年度)見直し内容(実施結果の振り返り)

大項目 小項目 / 事業費 人工

- ・新型コロナウイルス感染拡大防止対策を行い、施設内での感染防止に努めた。
- ・「新型コロナウイルス感染症により亡くなられた方及びその疑いがある方の処置、搬送、葬儀、火葬等に関するガイドライン」の改正に伴い、今まで1日2枠設けていたコロナ火葬枠を撤廃し、すべての斎場で受け入れ可能とした。
- ・他都市の事例等を参考に、残骨灰処理業務委託から、処理条件を付けた残灰等の売払契約に変更した。

(2) 当年度(2023年度)以降見直し内容(今後の方向性)

大項目 小項目 / 事業費 人工

- ・新型コロナウイルスの感染症法上の位置づけが変更されることに伴い、斎場での感染対策の見直しを行う。
- ・各斎場の利用件数を踏まえ、天竜、三ヶ日、春野、佐久間・水窪斎場の火葬業務委託の業務内容の見直しを行う。

7 当年度(2023年度)事業実施内容(Plan)

- 施設の運営及び維持管理を行う。
- ・浜松斎場運営事業
 - ・浜北斎場運営事業
 - ・天竜斎場運営事業
 - ・雄踏斎場運営事業
 - ・三ヶ日斎場運営事業
 - ・春野斎場運営事業
 - ・佐久間・水窪斎場運営事業

事業シート (事業名) 02 斎場施設整備事業

1 基本情報

(1) 事業目的・事業対象

遺体やペット類の火葬及び葬儀のための式場の貸出しを行っており、業務が一時停止することや中止することがないよう、火葬設備や斎場施設の保守管理を中心に、常に市民が安心して利用できる施設として運営維持管理を行う。

(2) 事業の性質

開始年度	終了予定	会計区分	事務区分	根拠法令等
1972	-	一般会計	自治事務(その他)	浜松市斎場条例

(3) 事業の位置付け

主要事業		※「総合戦略」該当事業 及び 政策実現のため特に重要な事業を主要事業とする。							
総合戦略	-	(施策)							

(4) 関連するSDGsのゴール

事業とゴールの関連性	なし
------------	----

2 事業コストの状況(千円)

		2019 (R1)	2020 (R2)	2021 (R3)	2022 (R4)	2023 (R5)	2024 (R6)
事業費(千円)	予算	78,531	143,518	79,797	98,107	178,118	
	決算	77,784	141,230	77,324	97,666		
	国・県支出						
	市債						
	その他	58,000	114,000	64,000		12,000	
	一般財源	19,784	27,230	13,324	97,666	166,118	
	一般会計繰入金						
	人件費(報酬等)(A)						
	人件費(人工分)(B)						
人工	正規						
	再任用(31h)						
	再任用(26h)						
	会計年度任用職員(人事課予算)						
年間経費(予算又は決算+A+B)		77,784	141,230	77,324	97,666	178,118	

3 事業の指標の状況(2024: 総合戦略・基本計画最終年度)

指標名称	総合戦略 施策体系	年度	2019 (R1)	2020 (R2)	2021 (R3)	2022 (R4)	2023 (R5)	2024 (R6)
		目標						
		実績						
		目標						
		実績						
		目標						
		実績						
		目標						
		実績						

(管理番号)

2022年度 分野 基本政策 政策 予算費目 所属コード 事業 (担当課) (責任者) (基準日)
03 02 05 01 000605000 02 市民生活課 大城 秀寛 2023.7.1

4 前年度(2022年度)事業実施内容 (Do)

施設の改修・整備を行う。

- ・浜松斎場施設整備
- ・浜北斎場施設整備
- ・天竜斎場施設整備
- ・雄踏斎場施設整備
- ・三ヶ日斎場施設整備
- ・春野斎場施設整備
- ・佐久間・水窪斎場施設整備

5 前年度(2022年度)事業評価 (Check)

(1) 事業の成果と課題

指標の達成度

- ・火葬炉設備や斎場施設の保守管理を中心に、施設の改修・整備を行った。

(2) 考慮すべき社会経済状況の変化 (新たな社会課題や機会、法制度の改正、他団体の動向など)

6 事業の見直し (Action)

(1) 前年度(2022年度)見直し内容(実施結果の振り返り)

大項目 小項目 / 事業費 人工

- ・火葬設備や斎場施設の保守管理を中心に、施設の改修・整備を行った。
- ・浜北斎場の棺搬入口の庇を設置した。
- ・台風15号で浸水した天竜斎場の復旧等を行った。

(2) 当年度(2023年度)以降見直し内容(今後の方向性)

大項目 小項目 / 事業費 人工

- ・今後の火葬体数の増加や施設の老朽化などの課題に対応し、中長期的に安定した施設運営ができるよう必要な各斎場の炉の改修、整備を行う。

7 当年度(2023年度)事業実施内容(Plan)

施設の改修・整備を行う。

- ・浜松斎場施設整備
- ・浜北斎場施設整備
- ・天竜斎場施設整備
- ・雄踏斎場施設整備
- ・三ヶ日斎場施設整備
- ・春野斎場施設整備
- ・佐久間・水窪斎場施設整備
- ・雄踏斎場の昇降機の更新を行う。
- ・春野斎場の旧煙突ダイオキシン・アスベスト含有調査を行う。

事業シート (事業名) 03 斎場再編・整備事業

1 基本情報

(1) 事業目的・事業対象

将来の火葬体数の増加や斎場施設の老朽化への対応及び公共資産の適正保有の観点から、「浜松市斎場再編・整備方針」を踏まえ、斎場施設の拡張整備等を行う。

(2) 事業の性質

開始年度	終了予定	会計区分	事務区分	根拠法令等
2014	-	一般会計	自治事務(その他)	浜松市斎場条例

(3) 事業の位置付け

主要事業	○	※「総合戦略」該当事業 及び 政策実現のため特に重要な事業を主要事業とする。							
総合戦略	-	(施策)							

(4) 関連するSDGsのゴール

事業とゴールの関連性	なし
------------	----

2 事業コストの状況(千円)

		2019 (R1)	2020 (R2)	2021 (R3)	2022 (R4)	2023 (R5)	2024 (R6)
事業費(千円)	予算	394,431	1,245,526	33,974	59,225	37,339	
	決算	393,833	1,245,188	30,639	58,547		
	国・県支出						
	市債						
	その他		1,175,700				
	一般財源	393,833	69,488	30,639	58,547	37,339	
一般会計繰入金							
人件費(報酬等)(A)					95	95	
人件費(人工分)(B)		17,500	17,500	23,100	23,100	23,100	
人工	正規	2.5	2.5	3.3	3.3	3.3	
	再任用(31h)						
	再任用(26h)						
	会計年度任用職員(人事課予算)						
年間経費(予算又は決算+A+B)		411,333	1,262,688	53,739	81,742	60,534	

3 事業の指標の状況(2024:総合戦略・基本計画最終年度)

指標名称	総合戦略 施策体系	年度	2019 (R1)	2020 (R2)	2021 (R3)	2022 (R4)	2023 (R5)	2024 (R6)
浜松斎場再整備		目標	調査等	調査等	都市計画決定等	仕様検討等	事業者選定等	設計・建設工事
		実績	調査等	調査等	都市計画決定等	選定基準決定		
浜北斎場拡張整備		目標	設計・建設工事等	建設工事	供用開始	整備済み		
		実績	建設工事	建設工事	供用開始	整備済み		
雄踏斎場再整備		目標	調査等	調査等	都市計画決定等	仕様検討等	事業者選定等	設計・建設工事
		実績	調査等	調査等	都市計画決定等	選定基準決定		
		目標						
		実績						
		目標						
		実績						

4 前年度(2022年度)事業実施内容 (Do)

2016年2月策定・公表の「浜松市斎場再編・整備方針」を踏まえ、浜松及び雄踏斎場の事業者選定基準を決定した。
・雄踏斎場再整備に係る土地について、用地買収を行った。



5 前年度(2022年度)事業評価 (Check)

(1) 事業の成果と課題

指標の達成度

- ・2016年2月策定・公表の「浜松市斎場再編・整備方針」を踏まえ、斎場の整備に必要な手続きを行った。
- ・浜松・雄踏斎場再整備にかかる事業者選定基準を決定した。

(2) 考慮すべき社会経済状況の変化 (新たな社会課題や機会、法制度の改正、他団体の動向など)

事業者決定手続きにおいて、昨今の急激な物価高騰が課題となる可能性がある。



6 事業の見直し (Action)

(1) 前年度(2022年度)見直し内容(実施結果の振り返り)

大項目 小項目 / 事業費 人工 拡大

- ・浜松及び雄踏斎場の再編事業については、必要な手続きを行うとともに、関係自治会などへの説明会や意見交換を行い、住民意見の収集・分析など継続して行った。
- ・附属機関であるPFI等審査委員会を立ち上げ、事業者選定基準を決定した。

(2) 当年度(2023年度)以降見直し内容(今後の方向性)

大項目 小項目 / 事業費 人工 拡大

- ・「浜松市斎場再編・整備方針」を踏まえ、浜松及び雄踏斎場再整備については、PFI法に基づく事業者選定を行う。



7 当年度(2023年度)事業実施内容(Plan)

2016年2月策定・公表の「浜松市斎場再編・整備方針」を踏まえ、斎場施設の拡張整備等を行う。

- ・浜松斎場・雄踏斎場:PFI法に基づく手法による事業者選定の実施

事業シート (事業名) 04 (新規)区再編準備事業

1 基本情報

(1) 事業目的・事業対象

区再編に対応するため、浜松市火葬予約システムを改修するもの。

(2) 事業の性質

開始年度	終了予定	会計区分	事務区分	根拠法令等
2023	2023	一般会計	自治事務(その他)	浜松市斎場条例

(3) 事業の位置付け

主要事業	—	※「総合戦略」該当事業 及び 政策実現のため特に重要な事業を主要事業とする。							
総合戦略	—	(施策)							

(4) 関連するSDGsのゴール

事業とゴールの 関連性	なし
----------------	----

2 事業コストの状況(千円)

		2019 (R1)	2020 (R2)	2021 (R3)	2022 (R4)	2023 (R5)	2024 (R6)
事業費(千円)	予算					208	
	決算						
	国・県支出						
	市債						
	その他					208	
	一般財源						
一般会計繰入金							
人件費(報酬等)(A)							
人件費(人工分)(B)							
人工	正規						
	再任用(31h)						
	再任用(26h)						
	会計年度任用職員(人事課予算)						
年間経費(予算又は決算+A+B)						208	

3 事業の指標の状況(2024: 総合戦略・基本計画最終年度)

指標名称	総合戦略 施策体系	年度	2019 (R1)	2020 (R2)	2021 (R3)	2022 (R4)	2023 (R5)	2024 (R6)
		目標						
		実績						
		目標						
		実績						
		目標						
		実績						
		目標						
		実績						

4 前年度(2022年度)事業実施内容 (Do)



5 前年度(2022年度)事業評価 (Check)

(1)事業の成果と課題
指標の達成度

(2) 考慮すべき社会経済状況の変化 (新たな社会課題や機会、法制度の改正、他団体の動向など)



6 事業の見直し (Action)

(1) 前年度(2022年度)見直し内容(実施結果の振り返り)
大項目 小項目 / 事業費 人工

(2) 当年度(2023年度)以降見直し内容(今後の方向性)
大項目 改善 小項目 改修・更新 / 事業費 人工
・令和6年1月1日の区の再編に対応するため、システムの改修を行う。



7 当年度(2023年度)事業実施内容(Plan)

令和6年1月1日の区の再編に対応するため、システムの改修を行う。
・火葬許可証交付場所(区)、火葬許可申請受付区の入力の修正

事業シート (事業名) 05 斎場デジタル運営経費

1 基本情報

(1) 事業目的・事業対象

・火葬予約にあたり、インターネットによる浜松市火葬予約システムを運用し予約を管理し、同時に火葬台帳の作成及び保管を行う。

(2) 事業の性質

開始年度	終了予定	会計区分	事務区分	根拠法令等
2021	-	一般会計	自治事務(その他)	浜松市斎場条例

(3) 事業の位置付け

主要事業	-	※「総合戦略」該当事業 及び 政策実現のため特に重要な事業を主要事業とする。					
総合戦略	-	(施策)					

(4) 関連するSDGsのゴール

事業とゴールの 関連性	なし
----------------	----

2 事業コストの状況(千円)

		2019 (R1)	2020 (R2)	2021 (R3)	2022 (R4)	2023 (R5)	2024 (R6)
事業費(千円)	予算			3,712	3,521	3,603	
	決算			3,498	3,501		
	国・県支出						
	市債						
	その他						
	一般財源			3,498	3,501	3,603	
	一般会計繰入金						
	人件費(報酬等)(A)						
	人件費(人工分)(B)						
人工	正規						
	再任用(31h)						
	再任用(26h)						
	会計年度任用職員(人事課予算)						
年間経費(予算又は決算+A+B)				3,498	3,501	3,603	

3 事業の指標の状況(2024: 総合戦略・基本計画最終年度)

指標名称	総合戦略 施策体系	年度	2019 (R1)	2020 (R2)	2021 (R3)	2022 (R4)	2023 (R5)	2024 (R6)
		目標						
		実績						
		目標						
		実績						
		目標						
		実績						
		目標						
		実績						

4 前年度(2022年度)事業実施内容 (Do)

- ・火葬予約システム担当者会議を行い、システムの運用方法の再確認を行った。
- ・火葬予約システムを運用し、斎場の予約管理、火葬台帳の作成、保管をした。



5 前年度(2022年度)事業評価 (Check)

(1) 事業の成果と課題

指標の達成度

- ・火葬予約システム運用していく中で、システムを使用する担当者で協議を行い、運用方法の変更や、システムの修正等を行った。

(2) 考慮すべき社会経済状況の変化 (新たな社会課題や機会、法制度の改正、他団体の動向など)

- ・「新型コロナウイルス感染症により亡くなられた方及びその疑いがある方の処置、搬送、葬儀、火葬等に関するガイドライン」の今後の改正内容
- ・新型コロナウイルスの感染症法上の位置づけ(2類相当から5類へ)の変更



6 事業の見直し (Action)

(1) 前年度(2022年度)見直し内容(実施結果の振り返り)

大項目 小項目 / 事業費 人工

「新型コロナウイルス感染症により亡くなられた方及びその疑いがある方の処置、搬送、葬儀、火葬等に関するガイドライン」の改正に伴い、今まで1日2枠設けていたコロナ火葬枠を撤廃し、システムでの予約方法を変更した。

(2) 当年度(2023年度)以降見直し内容(今後の方向性)

大項目 小項目 / 事業費 人工

浜松斎場と雄踏斎場の再整備に伴い、両斎場の供用開始までに、再編対応のための火葬予約システムの改修を行う。

法改正があった場合に、火葬予約システムの改修が必要な場合は改修を行う。



7 当年度(2023年度)事業実施内容(Plan)

- ・火葬予約システムを継続して運用する。
- ・火葬予約システムの担当者(各斎場担当)間で協議を行い、より良いシステム運用を検討する。
- ・令和5年5月8日から新型コロナウイルス感染症が5類となるため、火葬予約システムの予約方法の変更を行う。

政策シート 政策名 05 斎場・墓園・墓地の整備推進

予算費目名 02 墓園費

1 基本情報

(1) 総合計画体系

分野 03 安全・安心・快適

理想の姿 (30年後)	◆どこでも安全、いつまでも安心、持続可能で快適なまちになっている。
政策の柱 (10年後)	◆災害、犯罪、事故などの危険から、自分の命と財産を自分で守る意識を身に付けている。 ◆居住エリアの集約化などが進み、コンパクトなまちづくりが進んでいる。

基本政策 02 安全で安心して暮らせる持続可能な地域社会づくり

(2) 政策の概要(当年度(2023年度)実施内容)

墓園・墓地等を適正に維持管理するとともに、周辺環境や景観に配慮した墓地を市民の墓地需要を踏まえ対応することで、市民に安心感と良好な居住環境を提供する。

(3) 関連するSDGsのゴール

--	--	--	--	--	--	--	--	--	--

2 政策コストの状況(千円)

	2019	2020	2021	2022	2023	2024
予算	181,132	160,159	151,199	154,452	73,268	
決算	151,878	159,300	125,266	149,686		
人件費(報酬等)(A)						
人件費(人工分)(B)	18,900	18,900	18,900	18,900	18,900	
年間経費(予算又は決算+A+B)	170,778	178,200	144,166	168,586	92,168	

3 政策指標の状況

政策指標	単位	年度	2019	2020	2021	2022	2023	2024
天竜区船明地区墓地の整備済墓所区画数	区画	目標	2,628	2,628	2,628	2,628	2,628	5,799
		実績	2,628	2,628	2,628	2,628		
		目標						
		実績						
		目標						
		実績						

4 前年度(2022年度)政策評価

(1) 前年度(2022年度)実施内容

- ・市営2墓園、5墓地を指定管理者制度により維持管理運営、樹木管理工事等の施設維持を行った。
- ・納骨堂を指定管理者制度により維持管理運営、焼骨収蔵受付及び収蔵等を行った。
- ・地域からの要望を受け共同墓地の廃墓手続き、隣地支障木撤去及び施設維持等工事を行った。
- ・中沢墓園の擁壁について、施設点検の結果を踏まえて修繕工事を実施した。
- ・中沢墓園について、不明墓所対策の一環として区画所有者調査を実施した。
- ・2020年度に改葬及び整備を完了した三方原墓園いろは地区所有者不明墓所区画と前年返還区画について再貸付を行った。
- ・将来の適正な墓地運営のため、市営墓園・墓地、納骨堂整備方針検討業務委託を行い、今後の整備方針策定に必要な資料を取りまとめた。

(2) 政策評価(政策の進捗及び課題)

<進捗> 計画通り

- ・指定管理者のもと、墓園・墓地等を適正に維持管理運営することができている。
- ・船明墓地については、整備済区画数で現時点での墓地需要を満たしていることから、貸付状況を踏まえ今後の整備方針を検討する。

◇政策実現のために実施する事業一覧

	事業名	総合戦略	主要事業	完了	コスト (千円)	事業費 (千円)	人工				報酬 (千円)
							正規	再任用 (31h)	再任用 (26h)	会計年度 (人事課)	
1	墓園等整備・管理事業	-	-		168,586	154,452	2.7				
2											
3											
4											
5											
6											
7											
8											
9											
10											
11											
12											
13											
14											
15											
16											
17											
18											
19											
20											
21											
22											
23											
24											
25											
計					168,586	154,452	2.7				

※人工単価(千円)正規7,000 再任用(h31)3,600 再任用(h26)2,600 会計年度任用職員(人事課予算)2,800

事業シート (事業名) 01 墓園等整備・管理事業

1 基本情報

(1) 事業目的・事業対象

墓園・墓地等を適正に維持管理するとともに、周辺環境や景観に配慮した墓地を市民の墓地需要を踏まえ対応することで、市民に安心感と良好な居住環境を提供する。

(2) 事業の性質

開始年度	終了予定	会計区分	事務区分	根拠法令等
1982	-	一般会計	自治事務(その他)	墓地、埋葬等に関する法律、墓園・墓地条例、納骨堂条例等

(3) 事業の位置付け

主要事業	-	※「総合戦略」該当事業 及び 政策実現のため特に重要な事業を主要事業とする。							
総合戦略	-	(施策)							

(4) 関連するSDGsのゴール

事業とゴールの関連性	なし
------------	----

2 事業コストの状況(千円)

		2019 (R1)	2020 (R2)	2021 (R3)	2022 (R4)	2023 (R5)	2024 (R6)
事業費(千円)	予算	181,132	160,159	151,199	154,452	73,268	
	決算	151,878	159,300	125,266	149,686		
	国・県支出						
	市債						
	その他	157,579	111,694	111,678	116,542	73,268	
	一般財源	-5,701	47,606	13,588	33,144		
	一般会計繰入金						
	人件費(報酬等)(A)						
	人件費(人工分)(B)	18,900	18,900	18,900	18,900	18,900	
人工	正規	2.7	2.7	2.7	2.7	2.7	
	再任用(31h)						
	再任用(26h)						
	会計年度任用職員(人事課予算)						
年間経費(予算又は決算+A+B)		170,778	178,200	144,166	168,586	92,168	

3 事業の指標の状況(2024: 総合戦略・基本計画最終年度)

指標名称	総合戦略 施策体系	年度	2019 (R1)	2020 (R2)	2021 (R3)	2022 (R4)	2023 (R5)	2024 (R6)
天竜区船明地区墓地の整備済墓所区画数		目標	2,628	2,628	2,628	2,628	2,628	5,799
		実績	2,628	2,628	2,628	2,628		
		目標						
		実績						
		目標						
		実績						
		目標						
		実績						

4 前年度(2022年度)事業実施内容 (Do)

- ・市営2墓園、5墓地を指定管理者制度により維持管理運営、樹木管理工事等の施設維持を行った。
- ・納骨堂を指定管理者制度により維持管理運営、焼骨収蔵受付及び収蔵等を行った。
- ・地域からの要望を受け共同墓地の廃墓手続き、隣地支障木伐採及び施設維持等工事を行った。
- ・中沢墓園の擁壁について、施設点検の結果を踏まえて修繕工事を実施した。
- ・中沢墓園について、不明墓所対策の一環として区画所有者調査を実施した。
- ・2020年度に改葬及び整備を完了した三方原墓園いろは地区所有者不明墓所区画と前年返還区画について、再貸付を行った。
- ・将来の適正な墓地運営のため、市営墓園・墓地、納骨堂整備方針検討業務委託を行い、今後の整備方針策定に必要な資料を取りまとめた。



5 前年度(2022年度)事業評価 (Check)

(1) 事業の成果と課題

指標の達成度

- ・指定管理者のもと、墓園・墓地等を適正に維持管理運営することができている。
- ・共同墓地1箇所を廃墓と支障木伐採を行い、地域の要望に応えることができた。
- ・三方原墓園根いろは地区の再整備区画と前年度返還区画について予定通り再貸付を行うことができた。

(2) 考慮すべき社会経済状況の変化 (新たな社会課題や機会、法制度の改正、他団体の動向など)

- ・民間墓地の開設や墓終いの傾向など、市民のお墓に対する需要変化を踏まえ、市営の墓園・墓地、納骨堂の今後の整備方針について検討が必要である。



6 事業の見直し (Action)

(1) 前年度(2022年度)見直し内容(実施結果の振り返り)

大項目 小項目 / 事業費 人工

- ・墓園、納骨堂ともに、指定管理者による円滑な事業運営ができた。

(2) 当年度(2023年度)以降見直し内容(今後の方向性)

大項目 小項目 / 事業費 人工

- ・船明墓地の未整備区画(4,5期)や納骨堂の増設の必要性について、既存区画の貸付状況や納骨堂の需要、民間墓地の整備状況等を踏まえ、今後の整備方針を検討する。



7 当年度(2023年度)事業実施内容(Plan)

- ・市営2墓園、5墓地を指定管理者制度により維持管理運営 樹木管理工事等の施設維持
 - ・納骨堂を指定管理者制度により維持管理運営 焼骨収蔵受付及び収蔵
 - ・共同墓地の樹木管理工事等の施設維持及び廃墓手続き
 - ・船明墓地未整備区画(4,5期)の見直しや納骨堂増設の必要性等、市営墓地・墓園、納骨堂の整備方針の検討
- 【参考: 船明墓地の整備状況】
2011年度から段階的(第一期～第五期)に整備を行う。2013年度までに第三期整備まで終了。
総区画予定数 5,799区画(うち整備済み2,628区画)